

科目名	デザイン産業論			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2022年度 前期	単位数	2	
担当教員	西手 良豊			
内容および計画	<p>デザイン産業は、モノに新たな価値を創造、人や環境を配慮した提案を通じて社会的な諸問題を解決、世界の人々のコミュニケーションを容易にするため重要な役割を担うデザインを創造する知的産業です。このデザイン産業について、その役割、変遷、現状、課題などを総合的に学びます。そして新しいデザイン産業についても考えてみます。</p> <p>自らが「デザイン」や「デザイン産業」のあるべき姿について考えてみるのが最も大切です。</p>			
1	デザインの役割：デザインとは、デザイン産業とは			
2	デザインの役割：産業としてのデザイン			
3	デザイン産業の変遷：ヨーロッパ			
4	デザイン産業の変遷：ヨーロッパ（各国）			
5	デザイン産業の変遷：アメリカ			
6	デザイン産業の変遷：アメリカ			
7	デザイン産業の変遷：日本			
8	デザイン産業の変遷：日本			
9	今日のデザイン産業と課題：情報のデザイン（グラフィックスデザインなど）			
10	今日のデザイン産業と課題：情報のデザイン（デジタルデザインなど）			
11	今日のデザイン産業と課題：モノのデザイン（プロダクトデザインなど）			
12	今日のデザイン産業と課題：モノのデザイン（クラフトデザイン、ファッションなど）			
13	今日のデザイン産業と課題：空間のデザイン（インテリアデザイン、店舗デザインなど）			
14	今日のデザイン産業と課題：空間のデザイン（バーチャルデザインなど）			
15	新しいデザイン産業を考える：			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	[カラー版]世界デザイン史	阿部公正	美術出版社	9784568400847
教科書以外、授業の際、資料を配布します。				
参考書				
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	筆記試験			50
	レポート			40
	授業時の応答内容			10
図書館やインターネットを活用して自分で調べ、考え、理解を深めることが大切です。				
学習到達目標	デザイン産業への理解と心構え。			

先修条件	
実務経験	<p>実務経験あり：東芝デザインセンターで家電から社会システムのデザインを行う。 またデザインコンサルテーション、新規事業、街づくりや地域再開発事業などを行う。 海外留学さらに女子美術大学、筑波大学等でのデザイン教育を通しデザイン産業を幅広く体験。 こうした経験を基にデザイン産業について教授します。</p>
その他	<p>社会や産業におけるデザインの役割を理解し自らの進む方向を見出すことです。</p>